授業科目名・形態	病態治療学Ⅱ（皮膚科）　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	小野塚　直也	実務経験の有無	有	開講期	２年後期
科目ナンバリング	N3-2009npmht				

【授業の主題】

ヒトの体を覆う皮膚は、体重の16%をも占める人体で最大の臓器である。水分の保持、体温の調節、微生物の侵入や物理刺激からの保護など生命を維持するための必要不可欠な様々な機能を持つ。皮膚疾患は年齢・性別を問わず実に多岐にわたり、なにより症状が目にみえることが特徴である。

【到達目標】

本講義を通じ、触診、視診による発疹の観察や、皮膚科特有の診断、治療を知り、皮膚疾患の理解を目標とする。

【授業計画・内容】

第 1 回　皮膚の構造と機能
　　発疹学
第 2 回　診断学
　　治療学
第 3 回　疾患の理解

【授業実施方法】

講義形式

【事前・事後学習】

・講義内容に関する事前学習を毎回 30 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

【授業準備】

講義内容について事前に予習すること。

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

【教 科 書 等】

系統看護学講座　専門16　皮膚科

【参 考 文 献】

適宜、紹介する。

【成績評価方法】

定期試験の成績100%により評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

皮膚科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

予習と復習を行って臨みましょう。